**小山　吉朗 （おやま・きちろう）**

**１、プロフィール**

川柳作家。昭和４年より川柳入門。川柳岩木吟社創立同人、後代表となる。主に北津軽郡の川柳発展に尽力した。

＜生没＞

1909（明治42）年12月14日～1987（昭和62）年３月30日

＜代表作＞

川柳句集「こぬか雨」1988年刊行

＜青森との関わり＞

五所川原市に生まれる。同地方を中心に長く教職に勤務、後五所川原市教育長を務める。

**２、作家解説**

明治42年五所川原市に誕生。本名吉之助。昭和４年青森県師範学校卒。卒業後五所川原尋常高等小学校勤務。昭和13年朝鮮忠清南道鳥致院砧山小学校勤務。昭和20年敗戦とともに帰国、その後北津軽郡の小中学校長を歴任。昭和46年より昭和54年まで五所川原市教育長を務める。

昭和４年同僚の宮本夢一文に誘われて川柳入門。昭和８年「五所川原川柳会」の創立メンバーとなる。昭和12年五能線沿線各社（板柳・鶴田・五所川原）の柳人により「川柳岩木吟社」創立、その創立メンバーとなる。同吟社は戦中戦後の混乱で休眠状態となったが昭和38年復活、吟社代表となる。川柳岩木吟社代表として北津軽郡の川柳発展に尽力し多くの柳人を育成した。また青森県川柳社の重鎮として活躍。昭和62年３月30日死去、享年79歳。昭和55年五所川原市文化褒賞受賞。没後勲四等瑞宝章受章。平成元年10月五所川原市菊ヶ丘公園内に「花好きの妻が苦にせぬこぬか雨」の句碑が建立された。

**３、資料紹介**

〇『こぬか雨』小山吉朗遺句集

図書

1988（昭和63）年10月１日

188㎜×135㎜

川柳句集。著者の遺句集であり、著者唯一の句集である。著者の作品を年代順に編集、実直な作品が並ぶ。小山吉朗遺句集刊行委員会が編集、発行。発行所川柳岩木吟社。248頁。